

不確定要素の事前設定による連動図表の効率的自動生成

関根俊

駅構内に進出入する列車に対する信号機や転てつ器の制御は、連動装置によって行われる。駅構内の線形は駅毎に異なるため、連動装置も駅毎に動作が異なる。駅毎に異なる仕様を記述するのが連動図表であり、これに誤りがあれば事故を起こす原因となるため、作成には厳密性を期し入念な審査が行われている。筆者は、連動図表の誤りを無くし、作成者の負担を軽減するために、「連動図表作成支援システム」を開発してきた。システム化の基本は、配線略図を作図することにより連動表を自動生成することであるが、配線略図には記載されていない不確定要素が多数存在

するため、完全な連動表は自動生成できない。実際には、配線略図から連動表を作成する過程で、作成者が様々な条件を加味して完成させる。システム化に当たっては、これらの不確定要素を明確化し、図のような設定画面において集約して事前設定することで、効果的に自動生成する手法を考案した。

(鉄道総研報告, 2009年1月号)

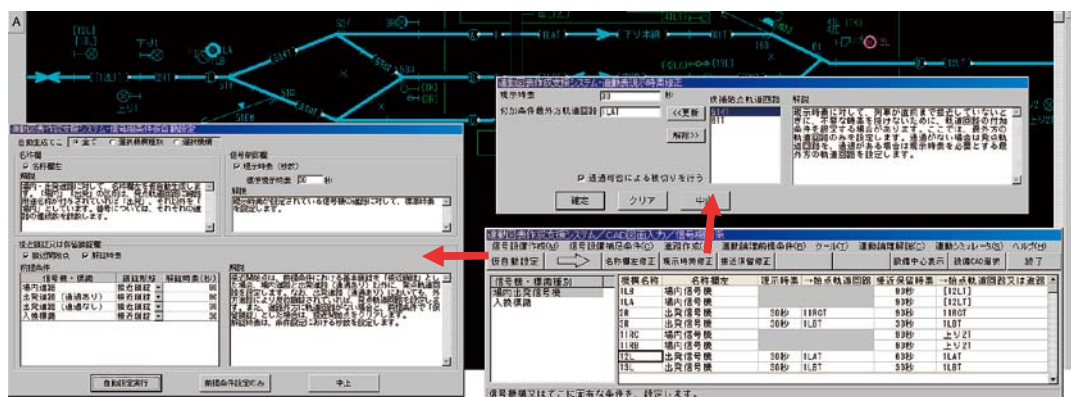


図 信号機関係事前設定画面